

研究に関するお知らせ

消化管癌・肝癌の患者背景因子と薬物療法の効果・安全性に関する研究

国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 がん総合診療センターでは、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

目的: 消化器癌や肝癌に対して薬物療法を行った患者さんの臨床的な特徴と治療内容や経過などについて確認し、治療の効果や安全性等の実態を把握することを目的としています。

方法: この研究では当院がん総合診療センターで薬物療法を受けられた方の診療記録をもとに、その臨床病理学的特徴や治療の効果・安全性などについて解析し検討を行います。

意義: この研究により、患者さんの年齢や病態に合わせた有効な薬物療法の選択を可能にし、治療を効果的に、安全に施行できることが期待できます。

■研究期間

理事長承認日 ~ 2023年12月末日

■研究の対象となる方

2015年1月1日~2020年3月31日までに当院で下記のがん化学療法を受けられた20歳以上の方

- 1) 消化器癌、肝癌および腹膜原発腫瘍と診断された方
- 2) 2015年1月1日~2020年3月31日までの間に薬物療法を実施されている方
- 3) 初回薬物療法から継続し薬物治療の内容が診療記録において確認できる方

■研究に用いる試料・情報の種類

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報（性別、年齢、病歴、薬物療法の治療歴や治療内容、副作用の発生状況等）を研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報等を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■利益相反について

利益相反の状況についてはNCGM利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
消化器内科/がん総合診療センター 小島 康志

■お問い合わせ先

国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1 03-3202-7181
消化器内科/がん総合診療センター 小島 康志

■掲示場所・交付場所

病院ホームページへ掲載するほか、診察室、外来治療センターの掲示板にも掲示いたします。